

# CASBEE® - 建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)いぶき野4丁目ホテル	階数	地上4F
建設地	大阪府和泉市いぶき野	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	50 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	ホテル,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年8月 予定	評価の実施日	2025年10月7日
敷地面積	1,688 m <sup>2</sup>	作成者	上田
建築面積	612 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	2,151 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.6** ★★☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安を示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.1

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.5

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.4

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.5

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.1

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.6

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>	和泉中央駅から近い利便性の良い立地を活かした計画とした。	その他 特に無し。
<b>Q1 室内環境</b>	快適性の向上に努めた。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地内の緑化や景観への配慮を行った。
<b>LR1 エネルギー</b>	省エネルギー化への配慮を行った。	<b>LR3 敷地外環境</b> 敷地内の緑化に努めた。
<b>Q2 サービス性能</b>	機能性の向上に努めた。	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>	省エネルギー化への配慮を行った。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】 建物名称	(仮称)いぶき野4丁目ホテル						
建設地	大阪府和泉市いぶき野						
用途/区分	ホテル 工場						
【評価結果】 CASBEE 総合評価					B-		
① CO2削減					4		
② みどり・ヒートアイランド対策					1		
③ 断熱性能					5		
	建築物省エネ法に基づく省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は複合建築物の住宅部分		評価対象外		評価対象外	
④ エネルギー消費性能					4		
	建築物省エネ法に基づく省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は複合建築物の住宅部分		評価対象外		評価対象外	
					3		
⑤ 自然エネルギー直接利用					—		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
エネルギー消費量の報告						報告しない	
【評価項目】							
項目	評価内容					スコア	評価
① CO2削減	CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮					3.8	4
② みどり・ヒートアイランド対策							
生物環境の保全と創出	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出					1.0	1
敷地内温熱環境の向上	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3.2 敷地内温熱環境の向上					2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE LR3 敷地外環境 2.2 温熱環境悪化の改善					1.0	
③ 断熱性能	CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制					5.0	5
④ エネルギー消費性能	CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化					3.9	4
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用					3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。					報告する 報告しない	報告しない
その他							
先進的技術の導入	技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項							